

## なぜ「土曜日なのか」

土曜日は「ゆとり教育」によって、何か特別な時間に突然なったようです。毎日のスケジュールをこなす月～金曜日とも異なり、勉強からの完全な解放を意味する日曜日とも違う時となったのではないのでしょうか。

この時間を使って文字通り「ゆとり」を追求したり、人生の幅を広げるためにボランティアやアルバイト、家の手伝いをしたり、それぞれ思い思いに、この「土曜日」を過ごしていると思います。

しかし、敢えてこの時間で学力を伸ばしたいと思っている方々のためにその道具を提供したいと考えました。それがこの土曜日シリーズです。大切なことは「土曜日」は時間に追われる他の曜日とは異なり、「自分で、何をどのように」学習するか、決めることができる日だということです。読者のみなさんが自分のためにはっきりとした目標をもちながら、土曜日のわずかな時間を計画的に使って自分のペースで学習するための道具が必要だと考え、企画、編集いたしました。

このエアポケットのような時間を上手に、自分なりに使ってみてください。1日15分でもいいし、8時間でもいいのです。人に決められたスケジュールではなくて、自分のペースでかかわれるよう編集されていることこそが、この土曜日シリーズの大きな特色なのですから。

「土曜日シリーズ」とは言っていますが、「自由にできる時間、つまり心理的、物理的に空白の時間」であれば、水曜日でも、日曜日でも構いません。私達のねらいは、自らの意志で、自らが計画者となり、自らのペースで学習していってもらうことだからです。

## 全国の高校生、受験生の皆さんへ

私たちはこの本を手にして「英語の受験勉強をしてみようかな」と思っている高校生、受験生の皆さんを心から応援します。

このシリーズを書いたのは、英語の勉強をしたいけれど、「何をやっていいかわからない」という声がとても多くよせられ、何とかしなくてはならない、と痛切に感じていたからです。とりあえず、学校でも塾でも皆一生懸命やってはいるし、できるようにがんばっているのですが、「覚えては忘れ、やっては忘れ」となかなか大学の入試問題をこなすだけの実力を定着させるのは至難のわざのようなのです。

そこで、部活で投球フォームやフットワークを繰り返して体で覚えたように、特に重要なポイントに的を絞って、繰り返しエクササイズをすることで、確実に知識が定着するという方法を使って、このような問題集を作成しました。

ぜひ、この問題集を使って、楽しく英語の勉強をしてください。「さあ、がんばろう」と思っている高校生と受験生の気持ちを大切にしたいので、多大な負担をかけずにすむよう、この本を作りました。大変かな？面倒くさくないかな？最後まで終われるかな？と思っているキミ、心配御無用です。1ページ20題がなんと10～15分で終わるように構成されています。「筋力エクササイズ」の時間は各地区で数年にわたり時間を計ったデータに基づいて設定されています。

そして、この時間内で解けるようにしていくことで、実際に成績も上がってゆきます。

この、「土曜日に差をつける英文法」シリーズで英文法の基礎力をつけて見事志望大学の合格につながりますように！

なお、BOOK1・BOOK2の解説編はおもに白石よしえが、問題編はBOOK1を近嵐靖子、BOOK2を岩田純子がおもに担当しました。また、英文の校閲は、カレン・アイボリーさんにお願いました。

著者

# ● ● ● 目 次 ● ● ●

## 第1章 不定詞と動名詞（準動詞）

- 1 意味上の主語（不定詞・動名詞）……………8
- 2 節から動名詞への書き換え……………12
- 3 不定詞と節の書き換え……………16

## 第2章 分詞構文

- 4 分詞構文のつくり方……………22
- 5 現在分詞で始めるか、過去分詞で始めるか……………26
- 6 注意すべき分詞構文……………30
- 第1回 実践力エクササイズ……………36

## 第3章 関係詞

- 7 関係代名詞の用法……………38
- 8 関係代名詞 *which* と *whom* の用法……………42
- 9 関係代名詞 *who*, *whose*, *whom* の使い分け……………46
- 10 関係代名詞の非制限用法……………50
- 11 前置詞＋関係代名詞の用法……………54
- 12 関係代名詞 *that* の用法……………58
- 13 関係代名詞 *what* の用法……………62
- 14 関係副詞の種類と使い方……………66
- 15 関係副詞と省略……………70
- 16(1) 複合関係詞の用法 *-ever* がついた形……………74
- 16(2) 複合関係詞 *no matter* の注意ポイント……………76
- 第2回 実践力エクササイズ……………80

## 第4章 比較

17	比較の用法	82
18	原級比較の要点	86
19	比較の重点 noを使った表現	90
20(1)	比較級の重点	94
20(2)	最上級の重点と比較級の慣用表現	96
21	最上級を表す用法	100
	第3回 実戦力エクササイズ	104

## 第5章 特殊構文

22	強調構文の基本用法	106
23	強調の仕方	110
24	注意すべき倒置	114
25	否定の種類と意味	118
26	否定語のない否定	122
27	SVの省略と慣用表現	126
28	同格の働きと代用表現	130
	第4回 実戦力エクササイズ	134

# 筋力エクササイズ 1



目標時間8分

1 次の各文の ( ) 内の正しい語を選びなさい。

1. It was good (for / of) him to offer to help us.
2. It was very kind (for / of) him to think of me.
3. It is necessary (for / of) him to take this medicine before each meal.
4. It was very considerate (for / of) you to give up your seat.
5. It was very careless (for / of) him not to lock the door.
6. It was strange (for / of) her not to answer such an easy question.
7. It was stupid (for / of) her to leave without saying anything.
8. How nice (for / of) you to come all the way to help us!
9. It was very important (for / of) him to talk to her about the matter.
10. It was wise (for / of) her to keep her mouth shut in a case like that.
11. It was very thoughtful (for / of) her to invite the local children.
12. It was just impossible (for / of) us to complete the task in a day.
13. It was very polite (for / of) them to keep the line neat and orderly.
14. It was quite sensible (for / of) him to realize the danger in advance.
15. It is quite natural (for / of) those who are taking an exam to get nervous.

## 2 節から動名詞への書き換え

午前 午後 夜

### [A] 書き換えのプロセス

Q **that** 節→動名詞への書き換えの方法を教えてください

He	denies	that	he	said	so.	時間差を表す動名詞の完了形
S	V		①S <sub>i</sub>	②V <sub>i</sub>		
↓	↓			↓		
He	denies			having said	so.	

[訳] 彼は自分がそう言ったことを否定している。

この部分が名詞や形容詞なら of を忘れないように。  
insist on や complain of の場合も前置詞を忘れない。

- 文の主語 S と that 節の主語 S<sub>i</sub> を比べる。
  - S = S<sub>i</sub> → S<sub>i</sub> を消す。
  - S ≠ S<sub>i</sub> → S<sub>i</sub> を動名詞の意味上の主語として所有格で、動名詞の直前に置く。
- 文の動詞 V と that 節の動詞 V<sub>i</sub> の時制を check。
  - V<sub>i</sub> が V より以前 → having done (動名詞の完了形)
  - それ以外 → doing 形にする。

### [B] 動名詞を使う場合

Q **key word** を教えてください

- 目的語に動名詞と that 節の両方をとれる動詞。

動名詞と that 節の両方を目的語にできる動詞			
<b>deny</b>	「～を否定する」	<b>admit</b>	「～を認める」
<b>suggest</b>	「～を提案する」	<b>imagine</b>	「～と思う」

- 前置詞 of, on, to, without などがあるとき。

<b>be 形容詞 of ~ing</b>	: sure, proud, ashamed
	「確かな」、「誇らしげな」、「恥じて」
<b>be 名詞 of ~ing</b>	: fact, news, idea
	「事実」、「知らせ」、「考え」
<b>動詞+前置詞 ~ing</b>	: insist on ~, complain of ~
	「～を主張する」、「～のことに不平を言う」